



## 2023年3月度全国法定伝染病情報

天津市疾病预防控制中心 www.cdctj.com.cn 2023-04-27

17:48 来源: 国家疾控局

2023年3月(2023年3月01日00:00 ~ 3月31日24:00)内の、全国(台湾香港マカオは含まず、以下同)の法定伝染病例は4,171,295例(宮本注: 前月は624,685例; なんと3,546,610人増!!)、死亡者数は2,393例(前月は2,329例; 62人増)であった。

うち、

A(甲)類伝染病では、発症・死亡例報告はなし。

B(乙)類伝染病はSARSやポリオ、ジフテリア、新生児破傷風、ヒト感染高病原性鳥インフルエンザとH7N9型鳥インフルエンザで発症・死亡例なし; 新型コロナウイルス感染以外の残20種(新型コロナを公表しなくなったことを認め、『新型コロナウイルス感染以外のその他』という表現に変えたようです)については、発症307,520例(前月は276,757例: 30,763人増)、死亡2,354例(前月は2,327例: 62人増)が報告されている。報告されている発症データの病種ワースト5は、ウイルス性肝炎、肺結核、梅毒、淋病およびブルセラ症(前月と同種同順)で、B類伝染病報告総数の96%を占めていた。

\* **衛生当局が乙類乙管(乙類の病気は乙類として管理する)に変更するといいつながらコロナだけ別扱いにして、ついに開き直ったという感じになったようです。**

2021年から増加していた『ヒト感染高病原性鳥インフルエンザ H5N6』はいわゆるヒト感染高病原性鳥インフルエンザ(H5N1のみにしている筈)には組み入れられていませんが、状況によっては衛健委がこれを新たな項目にするかもしれません。病名そのものに問題がある(現状ではいわゆる『新型インフルエンザ』というのと同様で不便ですね)と思うのですが、、リスト上ではこの『人感染高病原性鳥インフルエンザ』はゼロとなっている中、今後の区分に関しては5月、6月に1例、7月はゼロでしたが、10月15日に広西自治区南寧市で1例が増え、さらに今回の広東省の患者は昨年12月に見つかったのですが、発表ベースでは2023年の初の症例となります。

### <<COVID-19>>

『乙類乙管』、即、乙類感染症を乙類として管理するとした衛生当局ですが、本月報でも『新型コロナ』の欄そのものが削除されていることに注意ください。

同期、C(丙)類伝染病では、発症数は3,863,775例(前月は347,928例なので3,515,847人増!!)、死亡は39例(前月は2例で37人増)であった。発症データの3位までの病種は、インフルエンザ、その他感染性下痢、と手足口病であり、C(丙)類伝染病報告総数の99.7%を占めていた。

### (H7N9 鳥インフルエンザ患者と死亡者について:

1. 国家衛生計生委発表の2017年度月報上では、12か月間累計発症者数は、646人(死者数は269人)となりましたが、年度報告では発症589人、死亡259人と、それぞれに57人、10人の発症者・死亡者が消し去られていました。(こういう場合、WHOへの通報はどうするのでしょうか。恥ずかしいけどこんなに間違いがありましたと訂正を依頼できるのでしょうか。)
2. 不思議なことに、2017年10月以後は、散発的に患者が出ていたが、第6の波と呼べるものがまだ表れていません。2018年2月以後は発症ゼロ、3月に一名死亡以後ゼロ行進。2019年は4月に内モンゴルと甘肅省境で患者1名が出たが、それ以外はゼロ行進が続いている。**2023年2月も発症・死亡ともに『ゼロ』。**
3. 4月5日に内モンゴル自治区(内モンゴル自治区アルシャー盟エジン旗達来呼布(ダライコボ)鎮)で82歳男性感染者が見つかった(13カ月ぶり!)ので、その数字が反映されています(誤診ではなかったようです!)。2018年2月以後の患者発生が報じられていないため、4月の死亡者も同じ人だと推量可能です。
4. 2018年に入ってからは、この1月月報上の1名(新疆で発見、香港が発表)。そして、2月は1人発症1人死亡と発表。2月11日に中山市での患者発生が報じられている)しているのですが3月の死亡者1人というのがこの患者の死亡を表しているとするれば、1~5月までの累計で2名が発症、2名が死亡のままですが、5月に、『広東省本年初の患者が回復、まもなく退院(<https://wp.me/p66Elr-2RJ>)』という報道があったため、これが中山市の患者であることは明白、つまり、2名の本年死亡者中の「1名」は、確実に2017年の患者であることがわかりました。

5. 中国政府の活動の一つに、動物のサンプル調査で陽性反応が出た場合に、活禽市場を暫時閉鎖するというものがあり、これが『活禽への直接暴露機会』を減らしているのかもしれませんが。また、浙江省杭州市では、すでに市内での活禽交易市場は永久閉鎖されていますが、本当にこれだけで、第五波の数百人が第六波を起こすことなくほぼゼロになるのか、、、少し『楽観し過ぎ』かもしれません。
6. 現時点で未陥落の省は、青海省、寧夏回族自治区と黒竜江省の3省のみですが、黒竜江省では鳥間の集団発生が見られていますので、次の冬～春季に患者が出てくるという考え方を排除できません。
7. 浙江省、江蘇省、湖南、湖北省、北京市に続き、安徽省も患者のタイムリーな発表を意図的に隠し続けている様ですが、四川省アバ自治州若爾蓋などは刻々と変わる発生の状況をタイムリーに伝えており、これにより『デマ』に惑わされないようにとの工夫をしています。8月になって湖南省 CDC は単発患者1名を発表していますので、隠蔽体質の省から外せるかもしれません。もう少し様子見が必要。
8. 2017年1月からのFluTrackersとの情報交換共同作業をする中で、1625号患者(06月15日発表)まで追いかけることができず(7月に中側からFAOに発表された12人と、12月19日にFAOが発表した累計患者数“1621人”との差20人、それに2月28日のFAO“発表1625”人との差についてはいまだに詳細を確認することができていません)。WHOへの報告主体である衛計委とFAOへの報告主体農業部の間でも国内なのに整合性もなく、また、2017年年報を発表した衛計委自体も患者数を突然57人減じている(死者数も10人減!)事実がありますが、衛計委がWHOに「この患者はこの患者は誤報でした」という通知もしていない??? FluTrackersによると、『必ずしもすべての数字がWHOに報告されていない恐れがある』とされています。実際、FluTrackersは、NHFPCCや省・市のHFPCやHFPB、それに香港CHPの正式発表をもとに重複排除しており、中国政府当局の作為的な操作があるのかは別にして、乖離があります。中国当局からFAOへの通報、これに基づくFAOの発表についても上で述べたように『謎』の部分が出てきています。これらの患者がどうなったのかは、衛生計生委が毎年行っているB型肝炎患者数や梅毒患者数の操作と同じように『いなかったこと』にされるのかもしれませんが。患者が少なかったことから情報提供も僅か、それでも弊所からFluTrackersへの情報提供数は、**2017年1月以来529本になりました(as of May. 04, 2023)**。
9. 2014年1月に浙江省HFPCが発表した『確診患者は日日発表、死亡患者は翌月の月報にて発表。これが乙類伝染病としての管理だ』という内容の記事を弊研究所サイトにアップしています。『[2014-01-27 浙江省のH7N9鳥フル患者死亡者数発表に関して](#)』をご参照ください。
10. また、家禽の養殖場(採卵用の養鶏場)での集団発生が、増えています。2017年3月には湖南省永州市、5月には河北邢台市、河南平頂山市、天津市で発生。6月に入ってから陝西省榆林市、内モンゴルフホト市、内モンゴボグト(包頭)市、黒竜江省双鴨山市、8月には安徽省滁州市鳥間、と9件が発生しています。
11. 2018年に入り、3月5日には陝西省銅川市王益区で発生、4月5日には山西省臨汾市、18日には寧夏回族自治区同心県での発生、5月9日には寧夏回族自治区固原市でのアウトブレイクが農業農村部から発表されましたが、6月1日には、遼寧省瀋陽市で発生(H7N9に関するPPTに追記しています)。これで2017年は9件、2018年は5件、合計14件目の集団発生となります。一人もヒト感染者が見つからない寧夏回族自治区における鳥間の集団発生が2件続けて出ていることが気がかりです。
12. 2019年3月に、遼寧省錦州市で久しぶりの集団発生が報じられ、これで2017年から通算15件目の集団発生が出た形になりますが、どうも間隔があきすぎており、H7N9については、本当に消えているのか、消し去られているのか、、、良く判らなくなってきました。
13. 2020年に入ってから家禽の集団発生はゼロです。
14. 鳥間での病原性が低病原性から高病原性に変化しているようです(上海復旦大学の研究成果が『ランセット』感染症』に発表されたようです)が、今後の動向に注目必要ですね。
15. 但し、『[2018-04-03 対家禽H7N9インフル強制ワクチンの接種実施 河南省](#)』で書かれているように、H7N9ワクチンを家禽に強制接種されれば、(鳥肉を食用した人体への影響の有無は別にして)鳥類間でのアウトブレイク件数が減るのかもしれませんが。これもまた要ウォッチ事項だねとFluTrackersと話をしています。

⇒See [20230427H 中国衛生当局全国法定伝染病発症死亡統計 \(2023年3月\)](#)

<https://www.cdctj.com.cn/system/2023/04/27/030107984.shtml>

.....  
**National statutory reportable infectious disease epidemic situation in Mar. 2023**

Tianjin CDC      www.cdctj.com.cn      2023-04-27      17:48      Source: National Bureau of CDC

In March 2023 (0:00 on Mar. 1, 2023 to 24:00 on Mar. 31), the country (excluding Hong Kong, Macao Special Administrative Region and Taiwan, the same hereinafter) reported a total of **4,171,295** cases and **2,393** deaths.

Among them, No cases of Class A infectious diseases were reported; no death was reported.

There was no report of incidents and morbidity in SARS (Severe Acute Respiratory Syndrome), poliomyelitis, diphtheria, neonatal tetanus, Human infection with highly pathogenic avian influenza and human infection with H7N9 avian influenza have no incidence and death reports; **Except for the novel coronavirus infection**, a total of

307,520 cases of the remaining **20** kinds of Class B infectious diseases reported a total of **307,520** cases and **2,354** deaths. The top five reported cases were Viral hepatitis, tuberculosis, syphilis, gonorrhea and Brucellosis; these five diseases account for **96%** of the total number of reported cases of Class B infectious diseases.

#### COVID-19:

Miyamoto's notes; Please note that the field "COVID-19" has suddenly been deleted in this monthly report from December 2022 and NHC never touches COVID-19 in their monthly report.

In the same period, there was no incidence and morbidity report of filariasis in Class C infectious diseases, and **3,863,775** cases and **39** death cases were reported in the remaining **10** kinds of Class C infectious diseases. The top three reported cases were Influenza, Other infectious diarrhea, and hand, foot and mouth disease which accounts for **99.7%** of the total number of reported cases of Class C infectious diseases.

..... 以下是中国語原文 .....

### 2023 年 3 月全国法定传染病疫情概况

天津市疾病预防控制中心 www.cdctj.com.cn 2023-04-27 17:48 来源：国家疾控局

2023 年 3 月（2023 年 3 月 1 日 0 时至 3 月 31 日 24 时），全国（不含香港、澳门特别行政区和台湾地区，下同）共报告法定传染病 4171295 例，死亡 2393 人。

甲类传染病无发病、死亡病例报告。

乙类传染病中，传染性非典型肺炎、脊髓灰质炎、白喉、新生儿破伤风、人感染高致病性禽流感和人感染 H7N9 禽流感无发病、死亡病例报告；除新型冠状病毒感染外，其余 20 种乙类传染病共报告发病 307520 例、死亡 2354 人。报告发病数居前 5 位的病种依次为病毒性肝炎、肺结核、梅毒、淋病及布鲁氏菌病，占乙类传染病报告病例总数的 96%。

同期，丙类传染病共报告发病 3863775 例，报告死亡 39 人。报告发病数居前 3 位的病种依次为流行性感冒、其他感染性腹泻病和手足口病，占丙类传染病报告病例总数的 99.7%。

附件：2023 年 3 月全国法定传染病报告发病、死亡统计表